

アメリカンな雰囲気
町の風景と歩みを
たっぷり味わって

おかりえ
岡 利恵 さん

おちゃっこクラブ／ダイヤモンドヘッド 店主

昭和55年、宮城県名取市生まれ。
東日本大震災前に仙台市からご主人の実家がある女川町へ移住。
今は亡きご主人のアメリカンなコレクションたちに囲まれた
ハイカーにも地元の方々にも愛されるアットホームなお店を切り盛りしています。

名取トレイルセンターの方からみちのく潮風トレイルのお話を聞く機会があり、取り組みを知りました。歩いている方を見かけても、なぜ歩いているのか、どこに行くのか疑問に思っていました。店に訪れた際には、次はどこに行くの？今日はどの山を登ったの？などと話をするようになりました。そんな中、私の子どもがみちのく潮風トレイルに関係する仕事に就き、心身ともに成長する姿を見て頑張れ！とエールを送っています。私は歩いたことがありませんが、歩く以外でも関わることがあると感じています。

今の場所にお店を構えたのは2020年頃です。女川は防潮堤がなく、道路ごと嵩上げしているのですが、標高が低いこのお店からでも海の景色が見えます。ここから見える崎山地区の山の形がハワイのダイヤモンドヘッドに似ていたこと、アメリカに憧れがあったことから、今は亡き主人が店名をダイヤモンドヘッドと名付けました。東日本大震災で被災後は、病院の敷地内でプレハブ営業した際の店名がおちゃっこクラブでした。病院帰りの憩いの場として8年以上営業し、どちらの店名も定着したため、併記しています。店内は雰囲気のあるアメリカン雑貨などであふれています。

毎年正月に行われる女川町の伝統芸能・獅子振りにも携わっており、獅子が各家をまわり新年のご挨拶と邪気を払う際に太鼓や笛などを鳴らす通称・鳴り物の役目を女性陣が担っています。まわる家の件数の減少や担い手の高齢化など、今後の伝統継承に不安もありますが、正月の風物詩としてできるかぎり継承していきたいと思っています。

お正月には、金華山からの定期船が女川に戻ってきた際、待ち構えていた獅子が乗船客の頭にパクッと噛みつくので、ハイカーのみなさまにも女川に根づく伝統芸能に触れてほしいなあ。



汗をかきつつ下山してきたハイカーに人気の名物のナポリタン。
明るい店主と賑やかで楽しいアメリカン雑貨たちが心地よく、
気分けば1時間2時間過ごした！なんてことがあるかも。
たっぷりビタミンチャージをするゼロデイズ、ありかもしれませんよ。

